

市政を問う！

一般質問

9月定例会では20・21・22日の3日間で14人の議員が、市政に対する一般質問を行いました。



市長
保谷 武



一般質問

小林 利規 議員（創誠会）

子どもが持っている才能を伸ばすギフテッド教育について

議員 子どもたちと触れ合っていると、多くの個性、多くのエネルギー、多くの可能性をひしひしと感じる。子どもたちが何らかの個性を生かせる環境をつくる場として、ギフテッド教育が注目されているが、ギフテッド教育とはどのようなものか。

教育長 文部科学省によると、米国等における従来からの知能指数の高さなどを基準に、全般的な分野の才能を伸ばす教育に加え、特定分野において才能を伸ばす教育や、特異な才能と学習困難を併せ持つ児童・生徒に対する教育を含めたものと考えられている。

議員 子どもが持っている才能を伸ばすためにギフテッド教育が必要だと考えるが、教育委員会の見解はどうか。

教育長 個別最適な学びを通じて個々の資質、能力を育成し、協働的な学びという視点も重視して児童・生徒同士がお互いの違いを認め合い、学び合いながら、相乗効果を生

み出す教育が重要だと認識している。ギフテッド教育は、文部科学省の有識者会議で検討していると聞いているので、国や県の動向を注視したい。

議員 自己肯定感というのは、自分で得ていくよりも、周りからの影響でより育まれていくものだと思う。子どもがより頑張れるような環境づくり、支援の充実を学校現場にお願いしたい。

子ども食堂について

議員 運営団体の状況をどのように把握しているのか。

健康福祉部長 当該団体と連絡を取り合い、状況や要望等を把握している。最近では、食材提供者や利用者が増加し、連絡調整等の負担が増大したことから、支援の範囲を広げることが難しいと伺っている。

議員 市はこれまでにどのような支援を行ってきたのか。また、今後の展開等はどうか。

健康福祉部長 市としては、



こばやし りき



「ぽっかぽか」が実施しているお弁当・パントリー配布準備の様子

広報や活動場所の提供等の支援を実施してきたほか、昨年11月には市職員から食材を募集し、「厥市職員フードドライブ活動」を実施した。今後の展望については、これまでの支援を継続するとともに、利用者の増加や利用の機会の増加につながるような取り組みを検討していきたい。

議員 他市では、市が子ども食堂の設置を支援する事例がある。運営団体の負担を軽減して事業を充実するために、行政施策として関わる必要性を強く感じる。ぜひ行政の更なる支援を検討してほしい。

南町の公園改修について 問う

議員 南町の「大荒田交通公園」「あけぼの公園」「三和公園」の改修事業について、改修する年度や内容はどうか。

都市整備部長 老朽化した公園施設が多い「大荒田交通公園」は、来年度の改修に向けて設計を実施しているところである。「三和公園」や「あけぼの公園」については、現時点で改修の時期等は未定であるが、効果的な公園施設の維持管理を図るため、施設の老朽度や利用者の利便性、快適性、コストなどを見極めながら、修繕や改修工事

を順次実施していきたい。

議員 普段から公園の清掃等をしている町会や自主管理団体等と綿密な打ち合わせをして進めていただきたい。

都市整備部長 実際に公園改修の設計をする段階で、対応はしていきたい。

南町図書館の跡地 利用について

議員 駅西口地区市街地再開

発事業により、南町一丁目にある図書館が移転する計画となっている。その図書館跡地に「図書館分館」と市内初の「公立美術館」の設置を求める声がある。図書館跡地に文化施設を建設する考えはないか。

総務部長 公共用地が少ない本市において、市有地の活用が将来に関わる重要な課題であると認識している。市民の方からの文化施設建設等のご要望については真摯に受け止めつつ、一方で、市の公共施設等総合



みわ かずよし

管理計画において、公共施設の総量抑制を基本目標としていることから、今後も幅広い市民のニーズを踏まえながら、財政状況や公共施設全体のマネジメントなどを総合的に勘案し、引き続き適切な対応を検討したい。

議員 本市ゆかりの画家や芸術家の方も多くいる。費用がかかることは承知しているが、前向きに検討してほしい。

富士見公園野球場の 改修について

議員 富士見公園野球場を防災施設とスポーツ施設として早期に改修してほしい。

都市整備部長 錦町地区では、区画整理事業に合わせて雨水下水道の整備を進めており、将来的に野球場の地下に雨水調整池を建設する計画があることから、大規模な改修は見合わせているが、この間、野球場利用者の要望に対応して修繕や改修などを実施してきたところである。

1年後、3分の1の人にコロナ後遺症が判明 後遺症対応外来病院の周知徹底を図れ！

議員 県と県医師会が今年3月、新型コロナの後遺症の症例集を公開したことで、診療を始める病院が急増していると聞か



「おくやみハンドブック」の作成を
（鶴ヶ島市ホームページより）

当市も後遺症に対応できる医療機関のリストを作成し、市の広報やホームページなどで周知してはどうか。

健康福祉部長 市ホームページにおいて、後遺症が疑われる場合の受診についてのページを作成し、埼玉県のホームページにリンクすることで、後遺症外来の受診先情報を掲載している。症状に苦しんでいる方への不安解消の助けになるよう、地域の受診先一覧を市ホームページ上にも追加する等、掲載情報の見直しを図っていく。

蕨市版「おくやみハンドブック」の作成について

議員 多死社会到来の中、家

族の死亡に伴う行政手続きを一冊にまとめた「おくやみハンドブック」を作成し、市の窓口で配布してはどうか。

市民生活部長 現在、市民課において住民基本台帳関連の手続きに関する案内書類をお渡ししており、必要に応じて関連部署等を案内し、それぞれの窓口にて手続きを取っていただいている。近隣市では、窓口で必要となる手続きをまとめたハンドブックを作成していることは認識している。来庁されるご遺族に対し、円滑に手続きを行っていただくために、どのような手続きを案内するか等、ハンドブック



いちのせき かずい

という形にこだわることなく、情報提供の在り方を関係各課において協議していきたいと考えている。

仮設庁舎跡地の活用 について

議員 来秋の新庁舎落成に伴い、仮設庁舎（旧第2駐車場）が解体されるが跡地利用については、私案を含めて検討する協議会を設置してはどうか。

総務部長 跡地利用の考えについて、仮設庁舎の敷地は市の中心部のまとまった公共用地として貴重な資産であり、当該土地の活用は本市の将来に関わる重要な課題であると認識している。河鍋暁斎記念美術館の誘致や高齢者福祉センター等の複合施設、防災公園等の設置など、議員から提案のそれぞれの用途等を含め、まずは庁内で広く長期的な視点での用途について検討していきたいと考えている。

ほかに 「元NPO法人ベストライフ問題」について質問。

市外に向けたPR活動を充実 して訪れてもらえる蕨市に

蕨ブランド認定制度 について

よいものになるようにブラッシュアップをしてほしい。

観光事業について

議員 本事業は今回で3回目となるが、コロナ禍の影響もあり、市内外にPRができていないのではないかと危惧している。以前は、大型店でのお披露目や県の展示会に参加していたが、今回はどうか。

市民生活部長

感染症の影響により、令和2年に予定していたお披露目等は中止となったが、昨年度は新たな試みとして、東小学校3年生の総合学習で蕨ブランド認定品のPRをテーマに取り上げ、校内で展示会を開催し、児童がポスターやCM動画など、蕨ブランド認定品を広めるアイデアを発表会という形で各事業者に披露した。また、その他の出展についても、今後は機会を捉えてPRに努めたい。

議員 新庁舎への常設展示スペースの設置や、最近ではウェブ上で展示会をするケースもあるのですが、蕨ブランドがより



ふるかわ あゆみ

議員 商店街の店主が高齢化し、主体的に動くことが難しくなっている。観光協会も人数が少なく、市が主体的に動く体制にすべきではないか。

市民生活部長

市では、観光協会の負担が軽減されるよう、人的支援等を行っている。高齢化は認識しているが、一人でも多くの方に「ふるさと蕨」づくりに参画していただき、観光振興における推進体制の強化につなげていきたい。

「さよなら私のクラマー」と連携したPR活動を

議員

「さよなら私のクラマー」と連携し、各種イベントとタイアップした取り組みや、女子プロサッカーリーグの協力の下、スポーツ教室を実施するなどのPR活動の状況は、

市民生活部長

訪れてみたい



【#軍手ダンス】日本一小学生市「蕨（むらの）」市のWEリーグ応援ダンスのPVをYouTubeで公開中

気候危機打開 二酸化炭素排出量実質ゼロの実現に向けて

議員

環境基本計画（現計画）期間が今年度で終了する。来年度以降の目標や具体的な対策はどのようなか。

市民生活部長

蕨市の望ましい環境像として「みんなでつくる 人と自然が共生し、地球環境にやさしい コンパクト・エコ・コミュニティ『わらび』」を目指している。地球温暖化対策については、基本目標として「みんなで取り組む エコライフのまち」と位置づけ、「低炭素型ライフスタイルの実践」、「自動車の利用削減」、「循環型ライフスタイルの実践」を定め、持続可能な循環型社会・低炭素社会

会づくりに目指してきた。具体的には太陽光発電システム等に対する地球温暖化対策設備等設置費補助金交付事業や、蕨戸田衛生センター組合のこみの焼却時に発電する電力の有効活用、防犯灯や道路照明灯のLED化、ごみの減量化と分別の徹底などの取り組みを積極的に推進してきた。

新たな計画については、令和5年度から10年間の計画期間となる「第3次蕨市環境基本計画」の策定を現在進め大規模な改定を見込んでいる。具体的な対策や目標は、市内連絡会、学識経験者や地域住民の代表などで組織される「蕨市環境審議会」での審議、市民アンケートや事業者アンケートの結果、パブリック・コメントの意見など、様々な検討をした上で改定していく。市内連絡会は今年4月に1回開催したほか、アンケートに関しては9〜10月にかけて、市民200



環境にやさしい取り組みが必要です



みやした なみ

0人、事業者100社を対象に実施している。

議員 若い世代など、より多様な市民の声を取り入れてほしいが、審議会のメンバー構成はどのようなか。

市民生活部長

新たに市民参加として公募を行う。市民の幅広い意見が聞けるような人選をしていきたい。

議員

市役所新庁舎における環境への取り組みはどうか。

総務部長

屋上の太陽光パネル、吹き抜けの空間のエコポイド、LED照明などがある。

議員

新庁舎でのグリーンカーテンの整備などを要望する。

公立中学校運動部活動の地域移行について

議員

すべての子どもたちのスポーツ活動要求に応える社会教育施設・指導者の配置等の環境整備を教育行政が責任を持って行う等、文化・スポーツ要求を権利として保障する視点を持って取り組んでほしいと要望する。

本田 てい子 議員（公明党）

災害時に備えて、高齢者・障害者の個別避難計画の策定を

議員 自然災害でより被害を受けやすいのは障害者や高齢者などの災害弱者である。支援が必要な方に個別避難計画の作成を



災害弱者への支援の充実を

着実に進めていくことはとても大事な取り組みである。個別避難計画の作成について、登録申請した要支援者数と不同意者数はどうか。

市民生活部長 登録者は144名で、申請のない不同意者は1268名となっている。

議員 不同意者が申請していない点について、どのように把握しているのか。

市民生活部長 同居を含めた家族の支援があるため申請しないという方などがある一方で、制度を理解されていない方も一定数いると思う。引き続き制度を周知していきたい。

議員 個別避難計画の実行性の検証はされているのか。

市民生活部長 総合防災演習



ほんだ ていこ

の配備を働きかけるとともに公共施設以外の施設に対しても同様の案内をしていきたい。
議員 いざというときに躊躇なくAEDが使われ、命が助かる行動につながるよう対応してほしい。

期日前投票について

議員 7月の参議院議員選挙において、投票所入場券が公示翌日までに届かなかった人が、投票所で期日前投票をできなかった事例があったが、市はどのように考えているか。

選挙管理委員会委員長 投票所入場券がなくとも投票することができ、身分証明書をお持ちいただけるとより円滑な手続が可能となる。ご指摘の事例は、受付において身分証明書の提示がなければ投票できないと認識したことから生じたものである。こうした事例が生じないよう投票事務に当たり、より分かりやすく、丁寧な対応に努めていく。

AEDの活用について

議員 AEDの使用に関する調査から、女性の服を脱がせることへの抵抗感によりAEDの使用率に男女差が生じているとの分析結果が示された。傷病者のプライバシーを守るため、AEDのボックス内に三角巾を配備してはどうか。

健康福祉部長 AEDボックスを配置している市内公共施設に対し、タオルや三角巾等

一般質問

大石 圭子 議員（令政クラブ）

市民の愛だけでは安定経営につながりません！ 52年経過した蕨市立病院の将来について

議員 市立病院の老朽化の対応・考え方はどのようなか。

病院事務局長 耐震整備に向けた検討を進めている。現時点では、改修は多額の費用がかかるため、緊急性の高いものについて対応を図っている。

議員 市立病院の充実、毎年の市民意識調査で、非常に重要と考えられているものの、満足度はとても低くなっている。この結果をどう考えるか。

病院事務局長 薬の待ち時間が長いなどのご意見が寄せられており、改善できることは

改善しながら、親身で良質な医療の提供に努めたい。

議員 コロナ禍では、公立病院の役割を十分に果たしているが、経営においてはどのような影響を受けているか。

病院事務局長 令和3年度の決算は約1億6300万円の純損失。2年度は約3億4500万円の純損失である。

議員 収益がトップであった産婦人科の昨年度の収益は、前年度より1億4000万円の減収である。近隣に産婦人科ができたことやコロナ禍での産み控えなどが考えられるが、将来的に何で収益を上げるのか。また、安定経営につながる医師の確保はどうか。

病院事務局長 収益を確保する手段の1つとして、入院患者を増やしていくことが重要である。また、医師等の確保については、大学病院との連携や当院で独自に募集を行うて採用する形となっている。

議員 策定中の「経営強化プラン」に病院の将来が託されることはあるか。



おいし けいこ

ている。プラン中の連携強化とはどのようなことか。

病院事務局長 患者の転院や受け入れのコントロールをするのが地域医療連携室であり、他院との連携がうまく機能すれば、入院患者が増えることにつながり、非常に重要な役割を担っている。

子育て支援におけるオンラインの活用について

議員 昨年度実施された「京都大学COO実証実験」LINEで子育てA-相談」の検証はどうか。

総務部長 更なるA-チャットボットの充実が必要となるなど、課題が多くある。

議員 知識の蓄積で学習していくA-相談は、課題は多いと思う。オンラインの活用はコロナ禍で大切なツールとなった。市内の子育て支援センターでも始まっているので、子育て支援の足並みをそろえる意味で保健センターでも導入してほしい。



サブタイトルは「地域住民に愛される病院を目指して」になっているが...

今井 陽子 議員（令政クラブ）

循環型社会を目指して 古本募金きしゃぼんへの参加を

議員 SDGs目標12「つくる責任つかう責任」、持続可能な消費と生産のパターンを確保することに特化して、循環型社会の実現を目指した本市の考え方はどのようなものか。

循環型で環境に優しいまちづくりを進めていく。

市民生活部長 SDGsは、「コンパクトシティ」将来ビジョンの施策全般に関連しており、改定「蕨市まち・ひと・しごと創生総合戦略」において各施策との関連性を示し、各種取り組みを推進している。目標12についても市民事業者、行政が一体となって

議員 本市で実施している関連事業についてはどのようなものか。

や費用対効果を含め、今後の研究課題としていく。

市民生活部長 マイバック運動や生ごみの堆肥化事業等を通じてごみの減量化に取り組む、また家具の再生販売等を行い、再資源化の推進をしている。さらに3R活動の促進に向け、壊れたおもちゃを修理する公民館事業や、ごみ焼却炉の熱を利用して発電をする等の取り組みも行っている。

議員 本市の交通安全に対する取り組みはどのようなものがあるか。

交通安全計画において、高齢者の交通安全の確保、子どもの交通安全の確保、自転車の安全利用の推進、交差点における交通事故の防止の4点を重点に掲げ、様々な交通安全対策に取り組んでいる。

市民生活部長 第11次蕨市交通安全計画において、高齢者の交通安全の確保、子どもの交通安全の確保、自転車の安全利用の推進、交差点における交通事故の防止の4点を重点に掲げ、様々な交通安全対策に取り組んでいる。

議員 過去に開催した交通安全教室の内容はどのようなものか。

歩行指導や自転車の安全な乗り方教室のほか、目の前で交通事故を再現し、交通ルールの必要性を学ぶスクエアード・ストリート交通安全教室を開催した。



いまい ようこ

武下 涼 議員（日本共産党）

多様な人材活動とジェンダー 視点に立った政策事業

議員 防災担当部署への女性職員の配置の有無によって、避難所運営マニュアル等の記載内容の充実度に大きな差が出るなど、ジェンダーの視点から自治体の防災体制と防災政策の質の関係について明らかにした研究がある。本市の状況はどのようなものか。

男性職員しかいない状況であれば、その状態の中で最大限の配慮をしていきたい。

議員 改善に向けて工夫していることは理解した。本市の人財育成基本方針及び特定事業計画を、ジェンダーの視点に立って、より踏み込んだ方針・計画に設定してほしい。

市民生活部長 ジェンダー平等の視点を踏まえた取り組みについて検討していく。

議員 統計をとりをういて15年間の課別職員数の推移を出したが、女性職員の配置の偏りが見られる。職員採用試験における女性の受験者数の状況はどのようなものか。

総務部長 技術職や消防職において女性の受験者の割合が低い傾向にある。女性職員数自体が少ないこと等、人事配置において一定の制約があるが、女性職員の採用促進の取り組みを引き続き行い、女性職員の割合はできる限り高めていきたいと考

議員 住居表示案内板の活用について

議員 住居表示案内板について、他の自治体で避難所案内を兼ねてリニューアルするなど活用している。北町1丁目の案内板が撤去されたが、どのように検討されたのか。

市民生活部長 劣化が激しいもの、倒壊の危険性が高いものが撤去の対象となる。住居表示案内板の役割などを改めて考え直す時期が来ていると認識している。



たけした りょう



読み終えた本が寄付につながる
(画像はきしゃぼんホームページ)

総務部長 「古本募金きしゃぼん」については、あらかじめ募金する団体を指定し、家庭等で不要になった古本等を5冊以上まとめて送付すると、換金相当額に100円を上乗せした額が団体に募金されるというシステムである。制度の導入事例

市民生活部長 横断歩道での歩行指導や自転車の安全な乗り方教室のほか、目の前で交通事故を再現し、交通ルールの必要性を学ぶスクエアード・ストリート交通安全教室を開催した。



みんなで行くことで犯罪防止になる

総務部長 技術職や消防職において女性の受験者の割合が低い傾向にある。女性職員数自体が少ないこと等、人事配置において一定の制約があるが、女性職員の採用促進の取り組みを引き続き行い、女性職員の割合はできる限り高めていきたいと考

議員 市民生活に潤いや安らぎを与える役割のある公園を広く市民の方へ伝えていただきたいという思いから、「公園マップ」の作成を提案する。

都市整備部長 現在ホームページにおいて、地区ごとに公園の基本情報を掲載しており、内容の充実を検討する。

良好な住環境を守りたい 南町2丁目のマンション問題



やまわき のりこ

議員 蕨市都市計画マスタープランの第4章「地域別方針」の南町の（3）「地域づくりの取組方針」の内容はどのようなか。

都市整備部長 取組方針を「地域の特性を活かした良好な住環境の誘導・維持・保全」とし、敷地の細分化や周辺と調和しない高さの建築物の抑制など、地域の特性に応じた建築物に関するルールを定められる地区計画制度等の導入を検討している。

議員 南町の5階建てマンション建設計画に対して、蕨市まちづくり指導要綱などの「事業者の責務」が実行されるよう、市として指導すべきと考えるがどうか。

都市整備部長 当該計画は、5月16日にまちづくり指導要綱に基づく事前協議を受け付け、要綱や中高層条例に基づく手続き、並びに各基準の遵守と近隣関係者への事業概要説明などについて指導を重ねてきており、5月末からこれ

までに、2度の住民説明会が開催され、近隣関係者との協議が現在も継続している旨報告を受けている。建築主に対し、引き続き良好な関係を損なわないよう、十分な説明など丁寧な対応を求めている。

議員 建築主、工事施工者、近隣関係者の関係当事者が相互の立場を尊重しながら、互譲の精神をもって紛争の解決に努めていただきたい。

加齢性難聴の補聴器購入費補助金制度の創設を

議員 加齢性難聴者に対して、認知症の予防や健康寿命の延伸、医療費の抑制の観点から、補聴器購入費補助金制度の創設が必要と考えるがどうか。

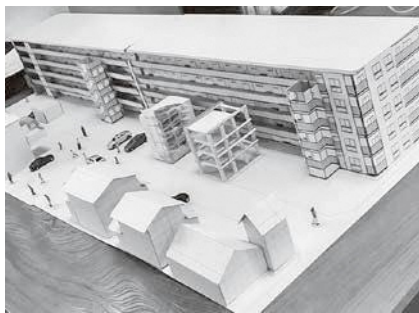
市長 高齢者の方の難聴が進むと音が聞こえづらくなり、生活の質の低下など健康にも影響を及ぼすであろうと認識している。必要性は十分承知しているが、限られた財源

の中で市独自の制度は、調査・検討が必要である。

子育て支援として学校給食費の無償化の実現を

議員 子育て世帯の経済的負担の軽減や学校教育の柱の一つである食育推進のため、学校給食費の無償化について検討する考えはないか。

市長 少子化が進む中、子育て支援としては意義のあることだと考えているが、いろいろな角度から慎重な対応が必要である。大事なテーマであるので、引き続きいろいろな観点から検討していきたい。



市民が作製したマンションの100分の1模型

一般質問

福祉のビジョンをかたちに！ 「地域福祉計画」の策定を



まえかわ やすえ

議員 地域包括ケアシステムは、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けられるよう、住まい、医療、介護、予防、生活支援が一体的に提供されるものと認識している。本市における在宅ケアの現状はどのようなか。

健康福祉部長 3か所の地域包括支援センターを設置しているほか、重度な要介護状態となっても、切れ目なく支えていく定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービス事業所の設置や、在宅医療・療養に関する相談窓口として蕨戸田市在宅医療支援センターを開設するなど、住み慣れた地域で安心して在宅医療が受けられるよう、より充実した在宅医療に向けての取り組みを行っている。

議員 今回の質問をするきっかけとなったのが、末期がんと診断され、治療を行わないことを決めて在宅ケアとなった方からの相談であった。がん患者の在宅ケアの方など、

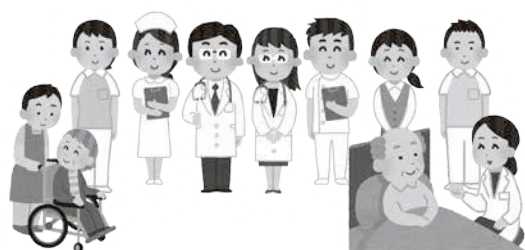
病状別での介護サービスのニーズを把握しているのか。

健康福祉部長 病状別にどのような介護サービスを利用されているかは把握していない。

議員 後期高齢者数がピークを迎える2025年問題を見据えて、在宅医療が叫ばれる要因の1つに病床の不足が挙げられている。終末期医療であれば、緩和ケア病床がある医療機関は少なく、入りたくても順番待ちとなる。在宅で次の場所を待つが、看取りまで自宅で待つということが現実問題として起きている。

また、在宅医療は自宅が病室という考え方であり、医療を自宅で行うことが増えていく方向性となるが、市立病院が訪問医療を行うことは可能か。

病院事務局長 訪問医療は医師や運転手、看護師など、人材の確保が大きな課題であり、そうした人件費の増大に見合う診療報酬を算定できるのか、今後の医療ニーズ等を踏まえながら検証する必要がある。



住み慣れた地域で暮らし続けるために
医療・介護連携の推進を

議員 本市が未策定である「地域福祉計画」は、福祉の最上位計画であり、現在、策定の準備を進めているとのことである。地域包括ケアシステムの推進、2025年問題などを踏まえながら、蕨らしい計画ができるのではないかと期待している。市民のニーズを的確に把握し、福祉や医療の現場から吸い上げた意見が反映され、社会環境の変化に対応した「地域福祉計画」を早期に策定してほしい。

中野 たかゆき 議員（日本維新の会・無所属連合）

誰も政治と無関係ではられない 蕨市の選挙管理委員会を検証する

開票立会人制度について

議員 開票立会人制度の内容、目的はどのようなか。

選挙管理委員会委員長（以下委員長） 開票立会人は、投票箱の開錠から開票録の作成まで立会い、投票の効力の決定に際しての意見陳述を行うなど、開票事務の執行が公正に行われるよう監視する。

議員 開票作業全般において、表面化していないミスはあるのか。表面化しているものが全てという認識が。



市民体育館で行われている選挙開票作業の様子

委員長 ミスと指摘されるケースは表面化しているものが全てという認識である。

議員 全ての開票作業が終了した時間はどうか。

委員長 記憶では、全部の票の確認が終わった時間が午前4時の少し前であった。

議員 疲労困憊で行う開票作業は必然的にミスが多くなると思われる。開票作業における改善策はどのようなか。

委員長 事務従事者が細心の注意を払って作業に当たり、読み取り機をはじめ、複数の目による確認を行うことでミスの防止に努める。また、迅速性を求められていることから、開票作業の在り方については鋭意研究していきたい。

投票率を上げる 取り組みについて

議員 不正投票防止のための本人確認の方法はどのようなか。

委員長 投票所入場券の持参による本人確認のほか、投票所入場券を紛失などされた場合と協議を進めていきたい。



なかの たかゆき

合は、身分証明書の提示や本人からの氏名などの聞き取りによる本人確認を行っており、今後も同様の方法を継続する。

議員 投票率の低下は民主主義の危機であり、投票率向上に向けた不断の努力をお願いしたい。駅前に行政センターが設置されるのは数年先の話となる。期日前投票所を駅前に設置すべきと考えるが、市長の考えはどのようなか。

市長 塚越地区にお住まいの方々から、現状の期日前投票所のアクセスの不便さを感じるとの「意見や改善を求める要望があることは承知している。期日前投票所をもつ1か所設置することについては、条件的に難しく、今に至っている。そのような中で、駅西口地区再開発事業において、行政センターと図書館を整備することとなり、そこに期日前投票所を設置できれば、今の状況と比べて利便性が向上することから、選挙管理委員会と協議を進めていきたい。

議員派遣報告

第84回全国都市問題会議

個性を活かして「選ばれる」まちづくり 〜何度も訪れたい場所になるために〜

10月13・14日の2日間にわたり、全国の市長、市議会議員等が参加し、都市の抱える問題や地方自治の在り方について議論する「第84回全国都市問題会議」が長崎市で開催され、11名の議員が参加しました。

今回の会議は「個性を活かして『選ばれる』まちづくり 〜何度も訪れたい場所になるために〜」をテーマに、講演やパネルディスカッション等により、「選ばれる」ことの価値や意義、多様な人同士の関わり方や在り方等について、他自治体等での様々な取り組みが紹介されました。

1日目は、高田旭人（株）ジャパネットホールディングス代表取締役社長兼CEOより、「民間主導の地域創生の重要性」と題し、長崎スタジアムシティプロジェクトの事業方針として掲げる「見つける・磨く・伝える」をまちづくりに応用することでの地域活性化への貢献の可能性、「公平性」への配慮が必要な行政と「幸福の最大化」を追求する民間の役割の違い等の基調講演が行われました。

また、田上富久長崎市長より、「昭和の観光都市」から「21世紀の交流都市」への進化を目指し、「見つける・気づく・磨く・生み出す」という視点から、まちの価値を

見つめ直した長崎市の取り組みなどの報告がありました。

その他に、「観光以上、定住未満」「特定の地域に継続的に関心を持つ

ち関与するよそ者」と定義される関係人口を若い世代が生み出している鳥取市の事例や山形市の2大ビジョン（健康医療先進都市・文化創造都市）による施策展開等の報告がありました。

2日目は、大杉寛東京都立大学法学部教授をコーディネーターに、今回のメインテーマに基づいたパネルディスカッションが行われました。

市長や大学教授等の5人のパネリストが専門的視点から、雲仙市での雲仙人プロジェクトの試み、体験型観光の意義、「長崎さるく」の取り組み、観光客の求める交流の在り方、伊丹大使の取り組み等について、持論を展開して議論を深めました。



議会報告会を配信中です！

7回目となる今年度の議会報告会は、令和4年11月8日の19時から文化ホール「くるる」において、感染対策を行いながら、3年ぶりに会場での開催となりました。当日は、12人の方々にご参加いただき、その様子はリアルタイムで配信を行いました。当日、ご参加・ご視聴いただいた皆さま、誠にありがとうございました。

なお、議会報告会の様子はインターネットで録画配信していますので、右下のQRコードや市議会ホームページから、ぜひご覧ください。



～第7回議会報告会の内容～

- 議長のあいさつ
- 議会のしくみの説明
- 総務・環境福祉経済・教育まちづくり各常任委員会の報告
- 質疑応答・意見交換



スマホやパソコンで
気軽に見いただく
ことが可能ですよ

現在もインターネットで録画配信中！



動画は蕨市議会ホームページ
からもご覧いただけます

QRコードを読み取ると、すぐに
動画を視聴することができます。

12月定例会の日程（予定）

11月28日(月) 開 会	12日(月) 一般質問
30日(水) 議案質疑・委員会	13日(火) //
12月 1日(木) 委員会・分科会	14日(水) 一般質問・委員会
2日(金) 委員会・分科会	16日(金) 閉 会
5日(月) 委員会・分科会	

※本会議はインターネット中継を実施していますので、市議会ホームページからぜひご覧ください。

広報広聴委員会を開催しました

- 9月22日 「12月発行号の概要、議会報告会について」
- 10月17日 「議会報告会について」
- 11月15日 「12月発行号の最終確認、議会報告会について」

◆編集後記◆

議会報告会を3年ぶりに有観客にて開催することができました。開かれた議会、市民参加を推進する議会を目指した取り組みとして開催しており、毎年広報広聴委員会を中心に、なつて企画し、議会メンバー全員で作成しています。一昨年は、コロナ禍により動画配信による報告会、昨年も動画配信でしたが中学生からの質問に答える企画を行いました。今年度は新規の企画としてYouTubeによるリアルタイム配信を実現するというものでした。

議会は様々な考え方を持つ幅広い年齢の議員で構成されているため、前例のない新規企画には様々な課題を克服する必要があります。当委員会は協力し、全議員への丁寧な説明、情熱を持った強い意志で進めています。議会というところは堅苦しいイメージもありますが、市民の皆様からの声を聞きながら常に前を向き新しい議会を目指していますので、是非ご意見をお寄せください。

広報広聴委員会

委員長 古川 奈歩
副委員長 宮下 奈美
委員 中野 陽子
今井 孝子
榎本 和浩
根本 幸一
保谷 幸一
大石 幸一